

## 屋久島山岳部における標識類(イメージ)

### 1、標記方法

地名や名称及び表現方法等について、既存の標識や地図、パンフレット等で相違がある場合には、なるべく統一を図る。

#### 1-1、地名統一標記

地名には原則として英語（ローマ字）を併記する。

	No.	日本語	読み	英語
あ	1	・・・	・・・	・・・
み	2	宮之浦岳	みやのうらだけ	Mt. Miyanoura
・	3	・・・	・・・	・・・
・	4	・・・	・・・	・・・

#### 1-2、マナー・ルール、注意喚起に関する表現方法

原則として、日本語及び英語での表記に加え、直感的な理解を促すために、ピクトグラムを併記する。ピクトグラムは原則「自然公園等施設技術指針」内に記載された「公共標識のピクトグラム」を使用する。

分類	日本語	英語	ピクトグラム
ゴミ	・ゴミは持ち帰る	・・・	
植物	・盗掘、盗採の禁止	・・・	
動物	・エサやり禁止	・・・	
注意喚起	・この先渡渡渉点	・・・	

## 2、標識種類別の指針

標識の種類別に、表示項目、具体的な設置箇所、設置イメージに関する基本的な指針を示す。今後の標識類の設置、更新に際しては、原則これらに準ずる。

### 2-1、登山道入口標識

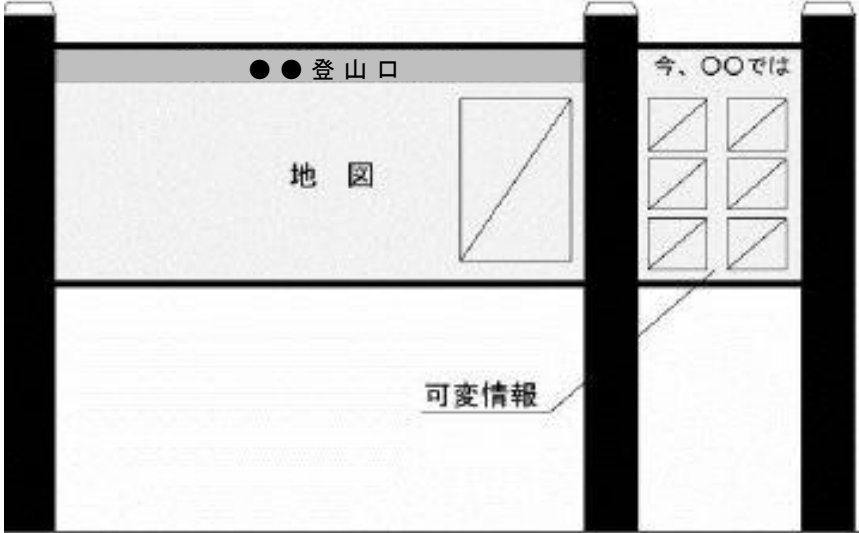
配置	表示項目		具体的な設置箇所
・ 主要な登山口	必須	・ 設置主体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川登山口</li> <li>・ 淀川登山口</li> <li>・ 白谷雲水峡入口</li> <li>・ ヤクスギランド入口</li> </ul>
	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルート名</li> <li>・ 往復時間、距離、難易度</li> <li>・ 必要な装備</li> <li>・ マナー、ルール</li> <li>・ 自然災害等の安全に係る情報</li> <li>・ 優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等</li> </ul>	
<b>設置イメージ</b>			
			

図 2-1 主要登山口の入口標識 (イメージ)

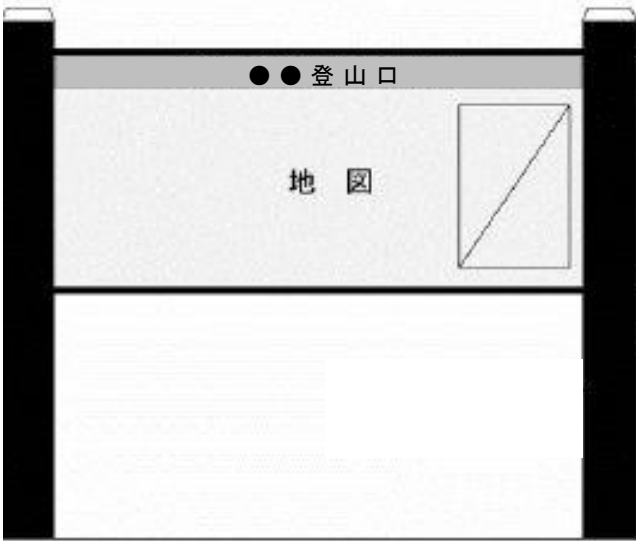
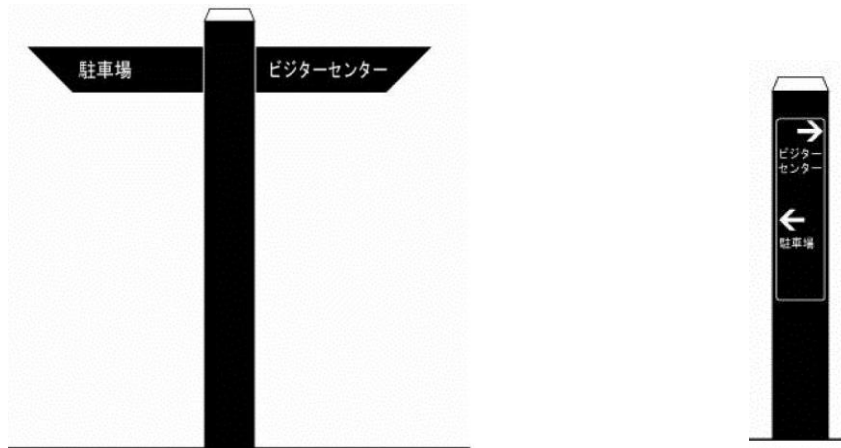
配置	表示項目		具体的な設置箇所
・その他の登山口	必須	・設置主体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太忠岳入口</li> <li>・龍神杉入口</li> <li>・楠川入口（県道側から）</li> <li>・旧栗生歩道入口</li> <li>・湯泊歩道入口</li> <li>・愛子岳入口</li> <li>・永田歩道入口</li> <li>・花山歩道入口</li> </ul>
	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート名</li> <li>・往復時間、距離、難易度、道迷いの程度</li> <li>・必要な装備（GPSの携帯）</li> <li>・自然災害等の安全に係る情報</li> <li>・優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等</li> </ul>	
<b>設置イメージ</b>			
			

図 2 - 2 その他の登山口入口標識（イメージ）

2-2、誘導標識

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分岐点</li> <li>・ルート区間内</li> </ul>	必須	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地名（次のポイント）</li> <li>・距離</li> <li>・設置主体</li> <li>・英語表記併用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永田岳山頂</li> <li>・永田岳山頂前の分岐</li> <li>・鹿之沢小屋</li> <li>・楠川分れ</li> <li>・黒味分れ</li> <li>・宮之浦岳山頂</li> <li>・投石岩屋</li> <li>・辻峠</li> </ul>
	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート名</li> <li>・水場の案内</li> <li>・入り口からの「位置」がわかるよう、番号を入れる</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道からアクセスする登山口</li> </ul>	必須	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道の方向</li> <li>・距離</li> <li>・設置主体</li> <li>・英語表記併用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山口</li> </ul>

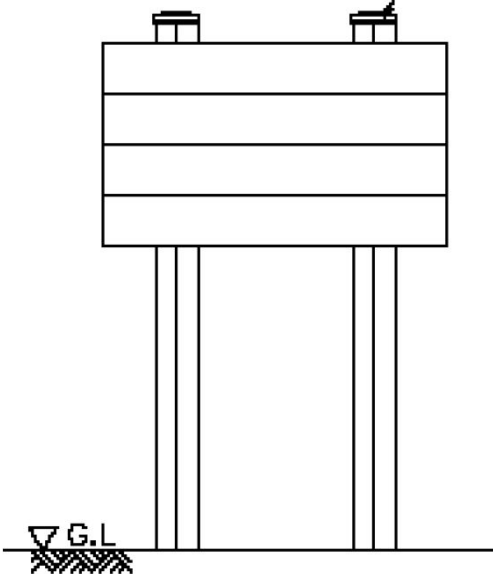
設置イメージ



2-3、注意標識

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動中に注意喚起が必要な地点、管理上必要な地点に設置</li> </ul>	必須	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意、マナー</li> <li>・設置主体名</li> <li>・英語表記、ピクトグラム併用</li> </ul>	
	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水場の状況(枯れている場合が多いこと等を注意喚起)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛子岳</li> <li>・宮之浦岳山頂～高塚小屋</li> <li>・永田歩道</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち入り禁止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花之江河、小花之江河</li> <li>・高塚小屋の後ろ</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・降雨時には渡渉不可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡渉点</li> </ul>
<b>設置イメージ</b>			
			

2-4、資源名標識

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等が存在する箇所</li> </ul>	名称のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置主体名</li> <li>資源名、地点名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>著名杉（大王杉、夫婦杉、三大杉など）</li> </ul>
	解説付き	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置主体名</li> <li>資源名、地点名</li> <li>資源について、簡易な解説をする</li> <li>英語表記併用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウィルソン株</li> </ul>
<b>設置イメージ</b>			
			

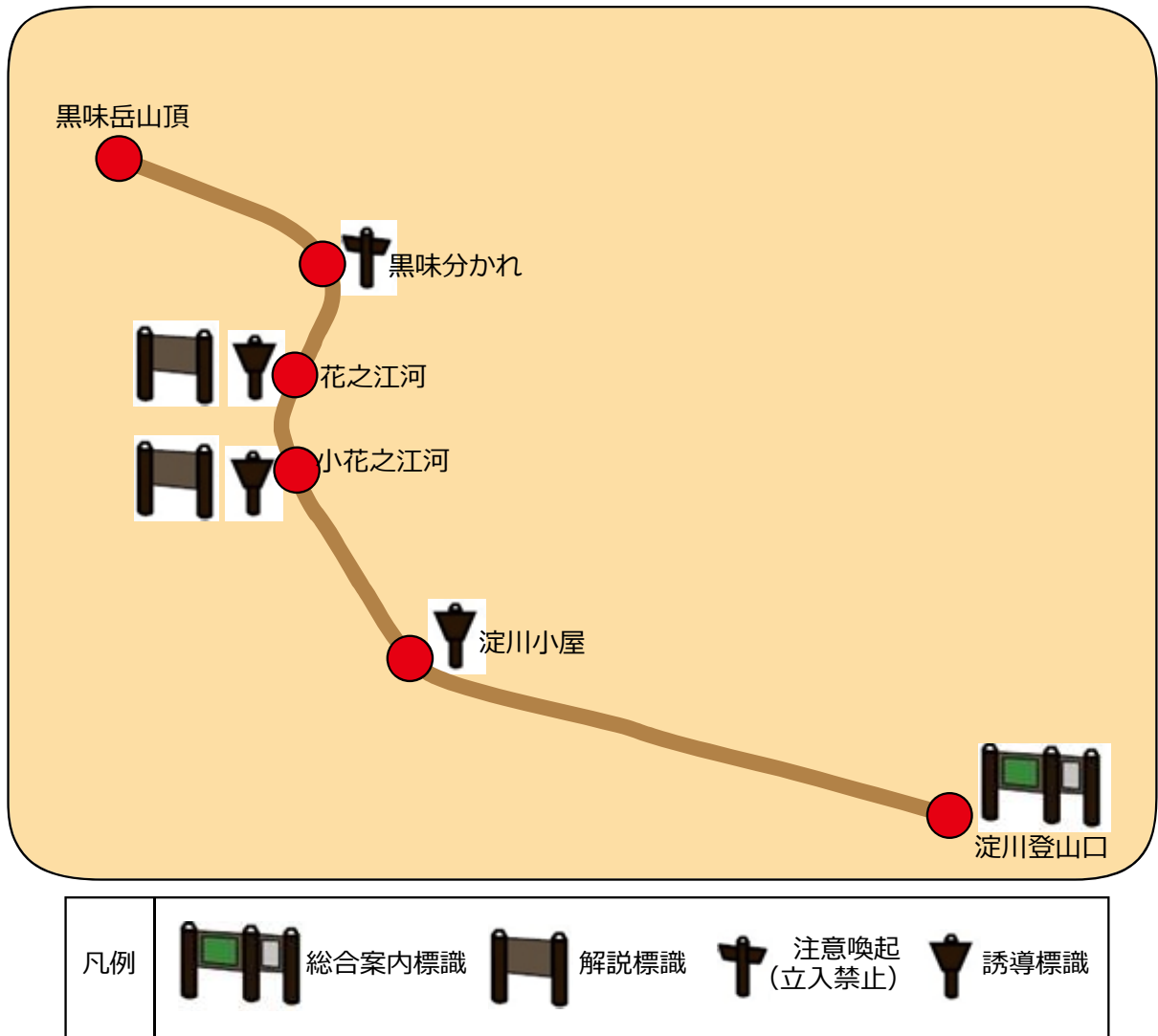
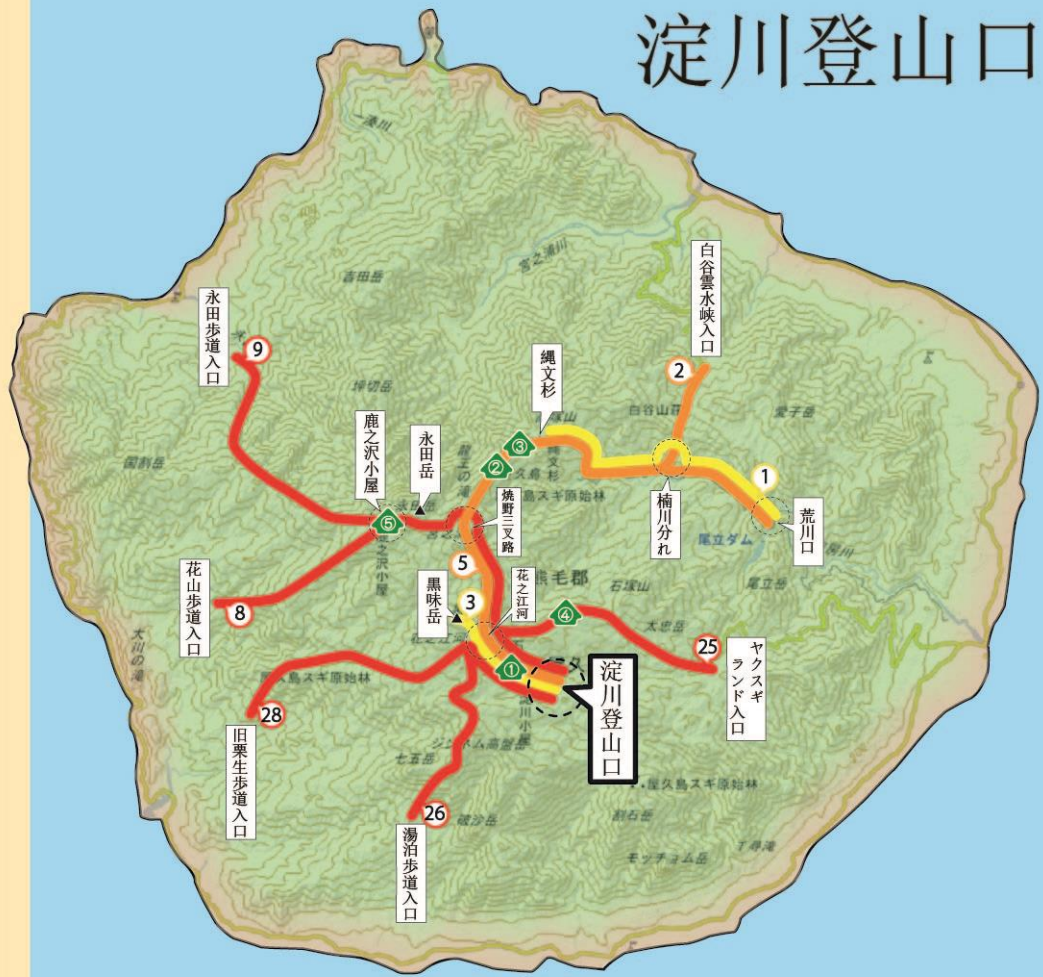


図 ルート No 3 淀川登山口～黒味岳往復の標識設置 (イメージ)

# 淀川登山口



- ① 淀川小屋
- ③ 高塚小屋
- ⑤ 鹿之沢小屋
- ② 新高塚小屋
- ④ 石塚小屋

■ 利用体験ランク、ランク別の主要ルート

**ランク5** 『山岳部の原生的かつ荘厳な自然を体験できる登山道』

- ⑧ 淀川登山口～花山歩道入口
- ⑨ 淀川登山口～永田歩道入口
- ⑫ 淀川登山口～黒味岳～花之江河登山道
- ⑫ 湯泊歩道入口～七五岳・烏帽子岳
- ⑫ 淀川登山口～旧栗生歩道入口

**ランク4** 『山岳部の原生的な自然を体験できる登山道』

- ⑫ 荒川登山口～縄文杉～白谷雲水峡
- ⑫ 荒川登山口～宮之浦岳～荒川登山口

**ランク3** 『山岳部の自然を体験できる登山道』

- ⑫ 荒川登山口～縄文杉
- ⑫ 淀川登山口～黒味岳

**ランク2** 『山岳部の自然を楽しむトレッキングルート』

**ランク1** 『山岳部の自然にふれあう探勝ルート』

図 淀川登山口案内標識 (イメージ 1)





### 3、標識の設置

尾瀬国立公園では標識類を『利用のゾーニング（登山レベル）』に応じて配置している。

表 3-1 標識類

標識	設置箇所	内容
総合案内標識	入山口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾瀬に関する基本的な知識、各種情報、マナー等の利用者が心得ておくべき事項</li> <li>・入山時点で周知徹底されるよう留意</li> </ul>
誘導標識	分岐点や中間点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾瀬を安全、快適に楽しむ上で重要</li> <li>・利用実態に応じて、適正な間隔で効果的に配置</li> </ul>
注意標識	用者の目に触れる場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意やマナーを呼び掛ける</li> <li>・資源や利用特性に合わせたものを掲示</li> </ul>

表 3-2 『利用のゾーニング（登山レベル）』

区分	特性
I 登山エリア	本格的な登山を楽しむエリア
II 軽登山エリア	軽いトレッキングを楽しむエリア
III 山岳短小エリア	木道を散策しながら景観を楽しむエリア
IV 入山エリア	景勝地を楽しむエリア

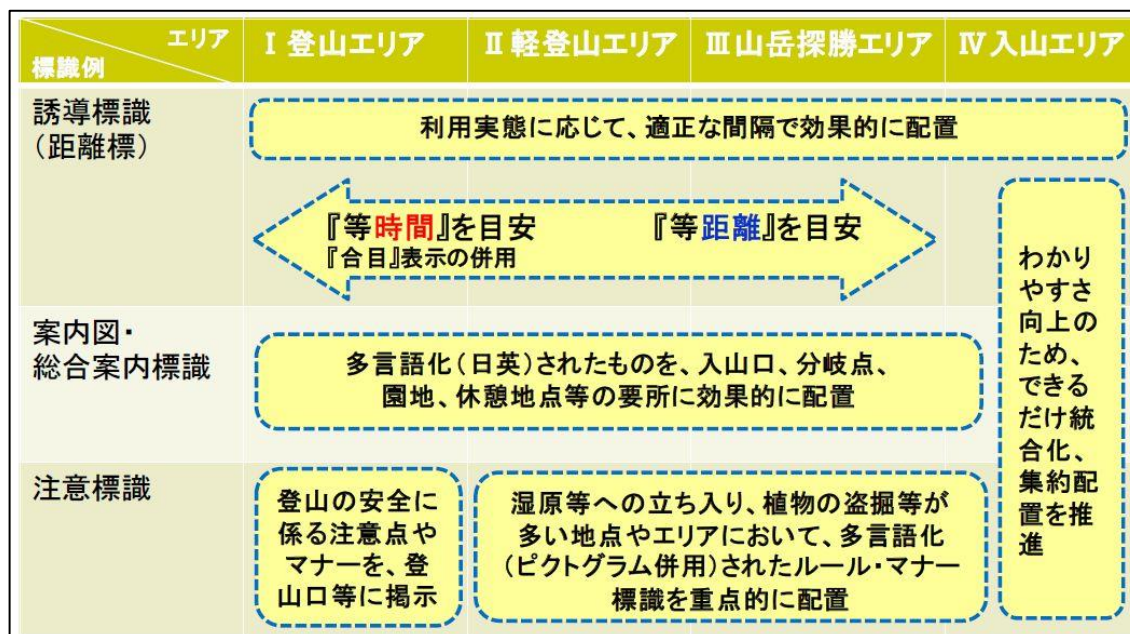


図 3-1 『利用のゾーニング（登山レベル）』に基づいた標識類の設置方針



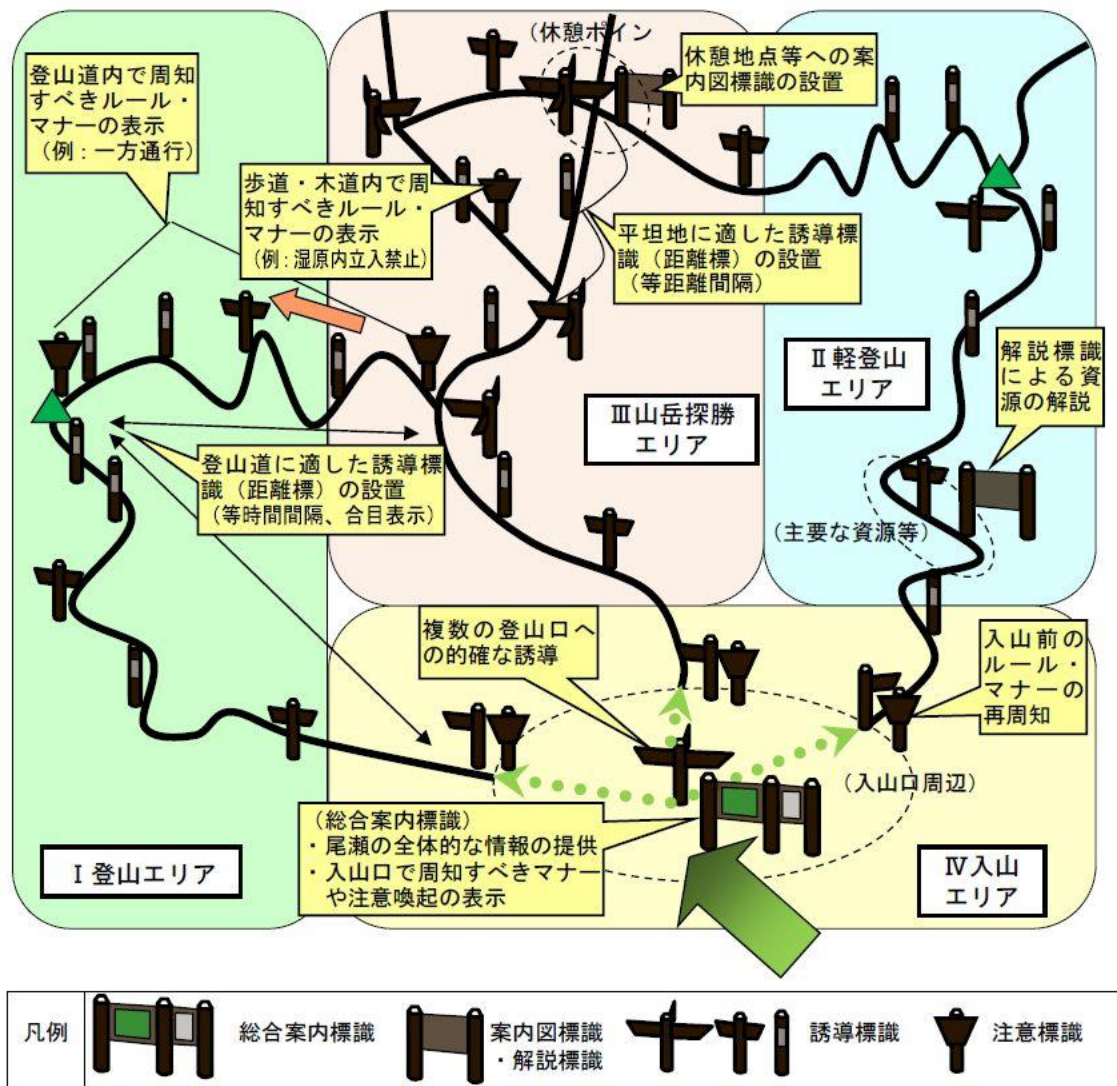


図 3-2 主な標識類の設置方針 (イメージ)